

# 大分寺婦

## 第 20 号

発行

大分教区  
寺族婦人会連盟

〒874-0920  
別府市北浜3丁目6-36  
本願寺別府別院内  
TEL0977-22-0146

### 響流 十方

委員長 伊藤 関子



皆さまにはお念仏の中に心清しく新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。  
昨年九月には、ハワイで開催された世界仏教婦人会大会の有り難いご縁に遇わさせていただきました。その四千人が集うコンベンションホールに響きわたるお念仏の声は、

まるで十方衆生世界に届くかのように感じられ、お念仏に生かされて来た女性たちの力強さとその慶びあふれる思いに、強く感動させられました。アメリカに浄土真宗が根を下ろして百年、一世・二世の方々想像を絶するご苦労があったにもかかわらず、強く明るく生き抜いてこられたということは、お念仏という宝物の相続があつたからこそでしょう。平成二十三年には親鸞聖人七百五十回忌がお勤まりになります。そのご縁に向かつて、大会でお会いした方々の晴れやかな笑顔と真つ青なハワイの空と海を思い出しながら、本年も皆さんと共にお念仏相続に努めていきたいと思

合掌

### 寺族婦人連盟 一泊研修総会

六月二十日 いつもより暑い中、本願寺四日市別院のご本堂にて「寺婦連盟研修総会」が一〇一名の出席者で行われました。



開会式 教務所長挨拶

#### △開会式▽

勤行「讀仏偈」の後、杉本教務所長のご挨拶の中で「阿弥陀様の働きは電波みたいなもの、阿弥陀様のエネルギーは決して切れることはない。たとえにするには無理があるが残念ながら電波の一番近いお寺にいながら電池が切れている人がいるのではないだろうか」とお話がありました。私たちは常に電波の第一線にいるということ

を忘れてはいけないと思いました。

寺婦連盟委員長の伊藤さんは「寺婦坊守の役割、お寺の活動にどうかかわるか。それには誰でもいつでも来ることが出来て、子供たちが境内で楽しく遊べるような地域の特色をいかし、個性的な活動ができればいい」とそれぞれお話をいただきました。

総会では活動計画、活動報告、決算報告、予算案ともにスムーズに可決されました。

その後、蓮谷かえでさんご指導のもと、仏教讃歌の敬礼文、三帰依、念仏を歌いました。今回は音楽法要にも使える曲を選んでいただきました。



総会風景



講話 高田慈昭先生

△講話▽  
 講師は行信教校教授、本願寺司教 大阪教区東住吉組 慈光寺住職 高田慈昭先生でした。  
 「人間の願いと仏の願い。仏の願いが先行する。仏の願いが浄土真宗の根本基調である。一般の宗教は人間の方から願いを神仏に願う。いわゆるこまった時だけの神頼み、自分の幸せが先。願われてある命、願われてある人生。全てのものが願いの中に生かされている。あるご門徒の話の中で、今救われる仏様のお慈悲の心が、私にとって一番大切なことは聴聞することです。お寺に行く時は子供た



軽やかに各組出しものです

△懇談会▽  
 会場を移し「宇佐かんぼの郷」で約五十五名の参加をいただき、工夫をこらしたアトラクションに大笑いしながら和やかに過ごすことができました。高田先生や中島先生のカラオケにあわせて踊りも飛び出し大変盛り上がりました。  
 だけど帰る時は春風が吹くような思い、私は仏さまと一緒に生きている。智慧と慈悲を心にいだいていける。私の人生営み全てが南無阿弥陀仏の中に住んでいる。」とお話をいただきました。



みなさん何故か カメラ目線

寺族婦人会

各組の活動状況

2005年度活動報告書より

- 1 大海組**  
 例会：年3回 5、7、11月  
 内容：会所寺院住職ご講話、昼食会
- 2 由布院組**  
 例会：年2回 7、3月  
 後には必要に応じて  
 内容：情報交換、会食、押し花作り
- 3 速見組**  
 例会：5回 5、7、9、1、3月  
 内容：会所寺院住職の講話、
- 4 白佐組**  
 例会：年2回 7、12月  
 内容：会所寺院住職の講話、報告事項伝達、昼食会
- 5 東国東組**  
 例会：年5回 5、7、10、1、3月 役員会 年2回  
 内容：講義『正信念仏偈』講師 組内住職  
 午後は自主研修：念珠つなぎ、タオル手芸  
 特色：2月に組外1泊研修旅行で別院、寺院に参拝年に1度若寺婦研修会
- 6 豊後高田組**  
 例会：年2回 6、11月  
 懇親会1回  
 内容：会所寺院住職の講話、連絡事項、意見交換  
 特色：例会の後、誰にでもできる体操を、組内坊守さんに指導してもらう
- 7 国東中組**  
 例会：坊守会、寺婦仏婦合同研修会
- 8 大野組**  
 例会：年4回 5、6、10、3月 4月に総会  
 内容：『蓮如上人書釋』の輪読(10年継続)

意見交換等  
 特色：2年に1度、1泊研修で本山の行事にあわせて参拝している

9 玖 珠組

特色：2年に1度バザーをして、神戸救助隊、及び各地被災地へ見舞金を送る

例会：年3回 5、7、10月  
内容：会所住職による『ひらがな御文章』の解説と法話、懇談会

10 日 田組

特色：2月に親睦会  
例会：年3回 6、9、11月  
3月に総会

内容：会所寺院の住職より『寺族婦人ノート』を参考に法話  
特色：老人ホームの仏具磨き  
7月

11 岡組

例会：年5回 5、7、10、11、3月

内容：会所寺院の住職を講師に1年間正信偈について学ぶ

12 耶馬溪組

特色：岡組寺婦会報発行  
例会：年5回 7、9、1、2、3月

内容：会所寺院住職の法話、手話コーラス  
特色：例会の時に積み立てをし、坊守研修旅行、念仏奉仕団、組活動に参加  
若い坊守さんに積

13 下毛中組

極的に参加してもらおう  
例会：年5回 4、7、8、11、3月  
うち1回は懇親会  
内容：会所寺院住職の講師による『歎異抄のころ』の研修



研修旅行



「例会」の様子

14 中津組

特色：懇親会はお食事会または、日帰り旅行

坊守会例会：年12回、毎月10日(会所寺院の都合により日程変更あり)  
内容：会所寺院住職による『三帖和讃』の講義、座談会、仏教讃歌  
特色：6、8月にお食事会、12月に中津市の歳末助け合い運動に寄付  
若藤会例会：年8回 4、5、6、7、9、10、11、3月

内容：会所若院、住職による『門徒ものしり帳』をテキストに講話、座談会

特色：若坊守だけでなく、若い坊守も所属できる任意団体 7月にお食事会、他随時懇親会  
8月の組主催の子どもの食事のお世話等

15 深見組

例会：年1回 3月、他研修会

内容：年3回  
内容：寺婦・仏婦担当住職が講師となり、公共施設を利用し、聞法の集い  
特色：ビハーク活動として、特別養護老人ホームへ

17 房組

傾聴の活動  
9月に1泊研修  
例会：年1回 2月、6月研修旅行

内容：会所住職による研修会  
特色：寺婦総会、研修旅行にもよく参加し、少人数ならではのまとまりがある。

18 宇佐組

例会：8回 1月以外毎月  
内容：御文章の拝読、仏教讃歌のコーラス指導、情報交換

特色：4月は総会と懇親会、5月は研修旅行で他組の寺院に参拝、年に1度特別講師を呼んで、勉強会(昨年は念珠作り)

初めて各組の活動をまとめてみました。内容は前述のとおりですが、他に問題点として、出席者が少ない、または、出席者が毎回決まった方しか参加しない、ということをおぼろげに感じられる組が多かったようです。その原因は、坊守さんが働いているため出てこれないというものと、坊守さんの高齢化、組が広すぎる上に、移動手段が自家用車に頼っているため出てこれる方がきまる、というものなどでした。

ちょっといい話

アイデアコーナー



お婆さんの知恵袋ちょっとしたヒントになると思います。

★里芋のたき方

皮をむいて、薄い塩水に短時間つけ、とり出してぬめりを洗います。だし汁、さとう、しょう油を入れ、その中に里芋を知れて火をつける。下ゆでしないことで、あくが旨味を出し、冷たいだしに最初から入れることで、味のしみが良くなる。

◇味噌汁の具に里芋を使うとき

だし汁に1/3~1/4の味噌を先に入れて、里芋を入れ、火をつけておろし際に残りの味噌を入れる。

里芋を使用する調理には、汁がにこらなくて、又とろ味がでないよう、塩分があった方が良いでしょう。

★来年の夏、トマトを育てようと思っている方へ

今年の冬は、みかんの皮をせっせと集めておき、1cm位の角に切って干し黄色くなる位に土にまぜておく。その上にトマトのなえを植える。めんどくさい方は、干していただいて、まぜても良い。畑にそのまま捨てても良い。

トマトに病気がはいりにくいので、熟すころになってもかれないそうです。味もきつと良くなると思います。

おくやみ

平成十七年は左記の方がご逝去されました。

謹んでお悔やみ申し上げます。

○大原 宏子(76歳)

大野 組 最乗寺 前坊守  
平成十八年 二月 五日

○武田 一枝(86歳)

大野 組 西光寺 前坊守  
平成十八年 五月 十四日

○渡邊 久子(88歳)

豊後高田組 大応寺 前坊守  
平成十八年 五月 二十八日

○志津里 朧(93歳)

玖珠 組 専光寺 前坊守  
平成十八年 六月 二日

○菅原 綾子(98歳)

中津 組 光専寺 前坊守  
平成十八年 六月 三十日

○永松 光美(63歳)

豊後高田組 浄周寺 坊 守  
平成十八年 七月 十二日

○伊藤 朴子(94歳)

東国 東組 妙徳寺 前々坊守  
平成十八年 七月 十三日

○白石 瑠璃子(78歳)

宇佐 組 蓮光寺 前坊守

○安藤 静子(94歳)  
平成十八年 七月 十八日

大海 組 佛言寺 前坊守  
平成十八年 十月 二十三日

○古庄 好子(96歳)

豊後高田組 願正寺 前坊守  
平成十八年 十一月 二十五日

○浄念 ツヤ子(80歳)

深見 組 浄念寺 前坊守  
平成十八年 十二月 十二日

あとかき

先日亡くなられた方が、「朝日ざめて、お寺の鐘の音が聞こえる」と、今日も一日命を長らえることができた。」と亡くなる二、三日前に話されていたそうです。私の打つ鐘の音を、一人一人の思いの中で聞いて下さっていることに改めて気づかされました。(M・T)

皆さん、お変わりなくお過ごしのことと思います。何もわからず動きだした編集委員もいつの間にか二年たったという感じですが、皆さんの協力なくてはできないこ

とでした。ありがとうございます。

私にとって、いろいろな組の寺婦委員さんとお話しできたこと、とても楽しく有意義な時間を過ごすことができました。このような経験をさせて頂き、皆さんに感謝しております。(Y・T)

テレビをつければ、毎日胸の痛むニュースばかり。思わずテレビを消したくなります。でも、そうして現実から目をそむけても、悲しい出来事は、現に私の周りで起こっているのです。寺族婦人として、私がどのようににかかわっているか、目をそらすずに、向き合っていきたいと思えます。広報担当になって二回目の新聞になりました、新しい出会いがあり、楽しい時間をすごせました。(M・K)

「大分寺婦」にたずさわわり、中島先生や役員の方々とのおふれあいや、かたらいの中で教えていただく事がたくさんありました。大分寺婦はこのようにして多くの方々とのふれあいの中受けているのだと思います。(M・O)